



持続可能で公平な 医薬品アクセスを推進する

医薬品アクセスプロGRESSレポート 2023

はじめに

武力紛争の再燃、異常気象の深刻化、地政学的摩擦の高まり、生成AIをはじめとするテクノロジー進化の加速など、昨年のさまざまな出来事によって、私たちは予測不能で不確実な新時代に入っていることが誰の目にも明らかになりました。



医療提供体制や医療提供者への影響は非常に大きく、世界で最も医療を受けられていない人々に、十分な医療を提供するという課題への取り組みはさらに困難を増す可能性があります。こうした状況を考慮すると、公平な医薬品アクセスを推進し、医療効果を改善するためのプログラムをグローバルに推進していくことが、これまで以上に重要です。

端的に言えば、医薬品アクセスは、経済状態を問わずあらゆる患者さんの健康を改善するためのしくみです。それは、誰に対しても人間としての尊厳を尊重し、患者さんを第一に考えて行動することに他なりません。こうした考えはタケダ全体に深く浸透しており、私たちの取り組みは、地域社会が長期的に医薬品にアクセスできること目指したツールやシステムを提供するとともに、持続可能なビジネスを進めていけるよう設計されています。

医薬品アクセスを推進するため、私たちは医薬品を最も必要としている人々にお届けすることだけでなく、こうした取り組みを阻む障壁に対処するために現地のパートナーと協力することも重要だと考えています。結局のところ、医薬品はそれを適切に提供するシステムがあってこそ真価を発揮するのです。

2022年のレポートでは、患者さんのたどる過程全体にわたる医薬品アクセスの障壁に対処するプログラムを取り上げました。これらはすべて、医療体制における持続可能な規模の制度構築、アフォードビリティ（医薬品の金銭的な面での利用しやすさ）の障壁の解消、政策立案者と協力して医薬品やワクチンへのより広範で持続可能なアクセスの実現を目指すものです。

また、同レポートの中では、公平かつ持続可能でインパクトのある医薬品アクセスを実現するために注力する3つの優先事項を設定しました。それは、1) 医薬品アクセスの拡大、2) 社会的価値をもたらすパートナーシップの構築、3) ビジネスアプローチへの継続的な統合です。

昨年1年間、タケダは患者さん一人ひとりの経済状態に合わせた患者支援プログラム（PAP）を通じて、また医薬品アクセスを阻む障壁に対処する協調的な活動を通じて、地域レベルでの医薬品アクセスを拡大してきました。

そして、政府や国際機関、民間保険会社と連携し、タケダとして初めての Dengue 熱ワクチンだけでなく、予防や疾病啓発およびモニタリングを含む広範なアプローチによって、深刻化する Dengue 熱の脅威に取り組み、社会的価値をもたらしてきました。

タケダは今後も、医薬品アクセスをビジネスの一環と位置付け、全社のリソースと専門知識を結集し、組織のあらゆる階層で明確なオーナーシップと責任を持ってインパクトの創出に取り組んでいきます。

私たちの行動はすべて、持続可能で公平な医療へのアクセスを推進するという目的に基づいています。それこそが、私たちが成功を定義し、測定する基準です。こうした目的に沿って、タケダでは低所得国（LMICs）や医療体制が発展途上段階にある国など、アクセスを阻む障壁が多く複雑な国々に特有の課題に焦点をあて、重点的に取り組んでいます。

現地当局との連携は非常に重要で、タケダは地域特有の医療体制によって生じる、医薬品アクセスのギャップを効果的な方法で解消するためのイニシアティブやプログラムを推進できるよう、現地チームに権限を与えています。

さらに、私たちは健康の公平性をグローバルに推進する協働として、世界経済フォーラム（WEF）の Global Equity Network の「Zero Health Gap Pledge」に署名したことを、誇りに思っています。

タケダの昨年1年間の進捗状況については、本レポートをご覧ください。そして、私たちが「世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献する」という存在意義（パーパス）を果たすことができるよう引き続き応援いただければ幸いです。

Michelle Erwee

タケダ グロース&エマーシングマーケッツBU
医薬品アクセス グローバルヘッド

患者さんの費用負担を軽減するための取り組み

発展途上にある国では所得が増えているにもかかわらず、患者さんの費用負担は依然として革新的な医薬品へのアクセスを阻む最も大きな障壁となっています。この問題に対処する最も効果的で持続可能な方法は国の償還プログラムですが、これらのシステムが完成するまでには何年もかかります。タケダのプログラムでは、持続可能なアプローチを通じて、登録された治療の費用負担を軽減することを目指しています。

「タケダの患者支援プログラムによって、より多くの患者さんが新薬や効率的な標的療法にアクセスできるようになり、ベトナムにおける悪性リンパ腫治療の質が全体的に向上するでしょう」

Dr.Bach Quoc Khanh

National Institute of Haematology and Blood Transfusion 理事長、
本プログラムの実施に関わる多くのステークホルダーの一人

ケーススタディ

ベトナムにおいて医薬品アクセスを広く推進するために政府機関と緊密に連携

タケダは、リンパ系に影響を及ぼす希少がんであるホジキンリンパ腫の、革新的な医薬品へのアクセスを阻む費用負担の障壁に対処するため、2023年1月にベトナムで初の患者支援プログラム（PAP）を立ち上げました。このPAPは、この種のものとしては国内初のプログラムであり、治療を受ける金銭的余裕がない患者さん一人ひとりに合わせた経済的支援を提供します。患者さんごとに必要な支援を決定してから治療を提供する点が鍵であり、対象となる患者さんは、経済状況に関わらず、医師から指定された治療を最後まで受けることができます。つまり、対象となる患者さんは、たとえ経済的制限があっても最後まで最適な治療を受けられるということです。

この取り組みはベトナムのような国では特に重要です。例えばベトナムでは、医療サービスの費用は平均して世帯収入の60～70%¹を占めており、革新的な医薬品には手が届かないことが多いのです。

第三者機関の人口データによると、ベトナムを含む多くの低所得国では、革新的な医薬品への十分なアクセスを確保するには、最大90%の患者さんが追加の経済的支援を必要としています。公平な医薬品アクセスを推進する上で、費用負担への支援が重要であることを明確に示しています。²



タケダは、PAPのスポンサーとしてベトナム保健省および多岐にわたるパートナーと協力し、患者さんのニーズに基づいて経済状況を評価してきました。これにより、医療を必要とする患者さん一人ひとりに合った柔軟な経済的支援を提供できるようになりました。タケダのPAPプログラムの認可とその実施は、数年かけてベトナム保健省と継続的に協働することで達成できたものです。

タケダは、今後も人々の暮らしを豊かにする革新的な医薬品を提供し続けるため、政府機関だけでなく医療コミュニティのさまざまなステークホルダーと緊密に連携していきます。

患者さんの費用負担を軽減するための取り組み

ケーススタディ

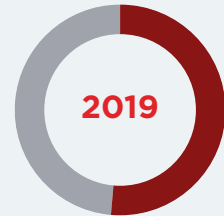
メキシコにおいて持続可能な医薬品アクセスへの道を拓く

タケダのPAPは、長期にわたり持続可能で公平な医薬品アクセスの実現を目指し設計されています。最終的には、低所得国に住む患者さんが、経済的な背景が原因でアクセスすることができないすべての治療に最後までアクセスできることを目指しています。一つの例が、2017年にPAPを開始したメキシコです。2017年にメキシコで初めてがん治療薬のPAPを立ち上げた際、タケダはまず医療従事者や公衆衛生機関と話し合い、彼らのニーズや期待の理解に努めました。

これが、治療費の負担が難しい約300人の患者さんの治療の橋渡しにつながり、タケダのPAPは重要な役割を果たすことができました。そして2020年、メキシコ政府はホジキンリンパ腫の革新的な治療法をより広く届けられるようにしました。これにより、大多数の患者さんが国民保健制度を通じて治療が受けられるようになったのです。

PAPの開始から2020年までの間で、対象となる患者さんの治療へのアクセスが40%増加しました。

現在もメキシコのPAPは、経済的支援を必要とする一部の患者さんのために継続しています。



■ メキシコでPAPを通じてがん治療薬による治療を受けている患者さん¹

■ メキシコでPAPを通じずがん治療薬による治療を受けている患者さん¹

¹ タケダの社内データに基づく



「最初の投与を受けて体が反応していることがわかりました。1年間治療をして、私の体は力を取り戻しました。タケダの皆さん、私に生き続ける機会を与えてくれてありがとうございます」

Pablo Álvarez Calderón

メキシコで初めてPAPの支援により治療を受けた患者さん

患者さんの治療効果には個人差があります

患者さんがたどる過程 （ペイシエントジャーニー） における障壁への対処

患者さんの費用負担の問題は重要な要因ではありますが、それは低所得国の患者さんが現在直面している医薬品アクセスを阻む多くの障壁の一つに過ぎません。疾患の予防、検診、診断から、質の高い治療、その後のサポートに至るまで、患者さんのたどる過程全体のアクセスを改善するには、地域の医療体制を強化する取り組みが必要です。

この課題に対処するため、2019年からタケダはケニアのメル県³において、革新的な医療アクセスのための「Blueprint for Innovative Healthcare Access」という試験的なプログラムに3年間取り組みました。2022年の医薬品アクセスプログレスレポートでもその成果とインパクトの概要を紹介しています。この取り組みから得られた学びや確立された制度は、地域の制度やコミュニティにおいてさらに活用され、地方自治体の優先事項を補完するために他の県でも適用されています。

また、ナイジェリアの現地の専門家と提携し、見過ごされがちなアクセスの障壁である現地サプライチェーンの機能整備にも取り組んできました。流通網が非効率であったり、貨物が適切に扱われなかったり、現地のインフラが信頼性に欠けていたりすると、重要な医薬品が患者さんに届くまでに遅れが生じる可能性があります。このプログラム開始から2年間、タケダはパートナーとともにサプライチェーンの脆弱性を調査し、協力して必要不可欠な医薬品をお届けしました。さらに、こうした活動を補完するものとして、医療従事者が、地域における医薬品アクセスへの障壁に、意識を高めるための能力向上プログラムを実施してきました。

タケダは、アフリカの3カ国におけるBlueprintプログラムの実施によりこれまでに多くのインパクトを創出してきたことを誇りに思っています。

サハラ以南のアフリカで進行中の医療体制強化プログラムの成果（2019年の開始から現在まで）

ルワンダ、タンザニア、ウガンダ	
意識向上キャンペーンの対象人数	119,000
トレーニングを受けた医療従事者の数	631
トレーニングを受けた医師の数	237
検査を受けた患者さんの数	17,878
診断を受けた患者さんの数	4,697

3. <https://www.innovationsinhealthcare.org/Blueprint%20Impact%20Report%20Dec%202022.pdf>



患者さんがたどる過程（ペイシエントジャーニー） における障壁を取り除く

サハラ以南のアフリカでインパクトを創出し、
グローバルに医療体制を強化



Blueprintアプローチの中核となるのは、地域によって異なる医療体制のギャップに基づき、パートナーとの協力を通じて、その現場で真のインパクトを創出することです。特に重要なのは、私たちが共同で達成しようとしている目標とその進捗状況の測定方法を、プログラムに関わるすべての関係者に周知することでした。

まずは取り組みの一環として、「健康へのアクセス ガイドブックと枠組み：Access to Health Impact Framework Guidebook」を作成しました。私たちが得た知見を総合的にまとめることで、時間をかけて継続的な改善を行うことが可能になり、今後のプログラムにも適応させることが可能になりました。*

私たちはこの3年間の取り組みを通して、地域に密着し、地域の課題に対処し、関係者全員で協力しながら推進することが重要であると考えています。まずは、国の優先事項に沿って、地域のパートナーとともに徹底的にギャップ分析をすることで、患者さんのたどる過程全体を通して解決すべき課題を特定しました。これにより、既存のシステムに統合できる解決策を共同で生み出すことができたのです。

例えば、ケニアのメル県政府および地域の公共医療システムのリーダーと緊密に連携することで、メル県における非伝染性疾患（NCD）予防の取り組みを継続的に支援しようという意識を高め、個人や医療システムのリーダーたちの積極的な参加を得ることができました。また、彼らに対し、NCDの活動と認知度向上を継続的に推進しています。

「現在、ルワンダの人口が1300万人であるのに対し、がん専門医の数は約12名です。私たちは、がんに関するパートナーシップを、まずはここから始めるつもりです。がん罹患率の上昇という課題を解決したいという意志は大いにあり、そこに至るまでには、まだ改善の余地があります」

Dr.Achille Manirakiza

King Faisal Hospital（ルワンダ、キガリ）
がん専門臨床医

メル県で生み出したインパクトとパイロットプロジェクトで得た学びに基づいて、タケダは事業全体にこのアプローチを取り入れるとともに、このフレームワークを他の状況にも適用可能かどうかを模索し続けます。なぜならタケダのLOC（現地事業会社）がこのフレームワークを適用できるようになれば、グローバルで培ったベストプラクティスをそれぞれの市場の目的に合ったかたちで展開することが可能になるからです。

タケダは今後も、各地域でBlueprintフレームワークを活用することで、どんな地域にいても医療にアクセスできるアプローチを実現し、医療エコシステム全体を強化し、患者さんの暮らしをよりいっそう豊かにしていきます。

* メル県におけるBlueprintプログラムの学びと成果については、[こちらからCollective Impact レポートをご覧ください。](#)

患者さんがたどる過程（ペイシエントジャーニー） における障壁を取り除く

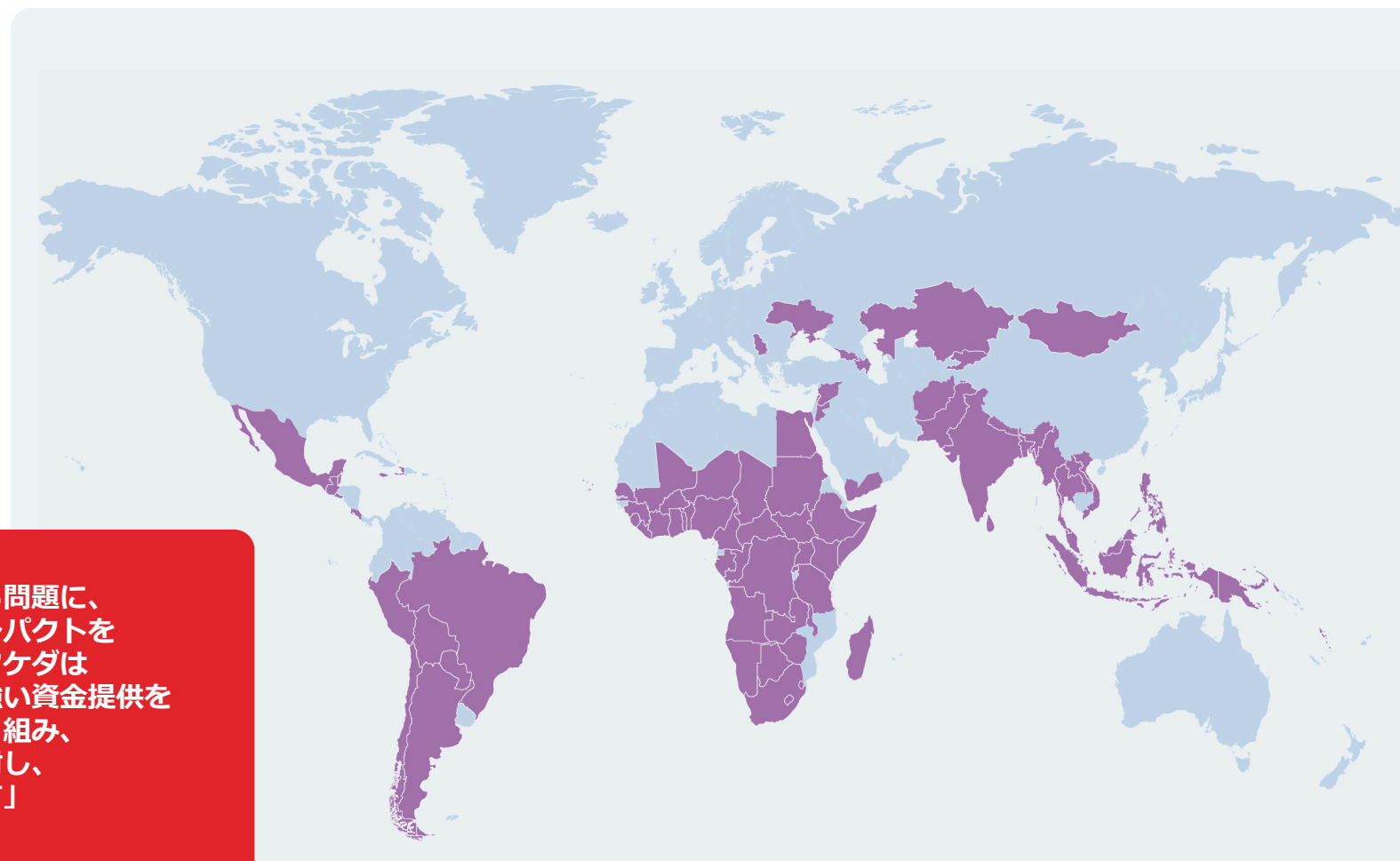
低中所得国で進行中の 医療体制強化プログラム

持続可能かつ公平な医薬品アクセスを実現するためには、総合的なアプローチが必要です。それは、医薬品そのものの開発だけではなく、患者さんが長期にわたって健康的な生活を送れるよう、より広範な医療体制面の課題を解決しなければなりません。それこそが、タケダがパートナーとともに地域の医療体制を強化し、疾患の予防・検査・診断から、質の高い治療や患者支援プログラムにいたるまで、患者さんのたどる過程のあらゆる局面においてインパクトを生み出すことに重点を置いている理由です。タケダは、医薬品アクセスを加速するという目標に向けてグローバル規模で取り組んでいますが、リソースの乏しい国では、アクセスを阻む障壁が特に多く、また複雑であることも理解しています。そのため、私たちはいまだ満たされていない医療ニーズが特に多い低中所得国における医療体制の強化に注力しています。

「患者さんの医療へのアクセスに関する問題に、近道は存在しません。持続可能なインパクトを創出するには時間がかかるのです。タケダは低中所得国において、長期的かつ力強い資金提供を通じて、健康上の課題に継続的に取り組み、市販品では解決できなかったものに対し、革新的な医薬品をお届けしていきます」

安藤 寿絵

タケダ グローバル コーポレート アフェアーズ
グローバルCSR&パートナーシップ戦略 ヘッド



● タケダは現在82カ国で医療体制を強化するプログラムを実施しています（紫色の部分）

社会的価値をもたらすパートナーシップの構築

グローバル規模の医療課題は、一つの組織が単独で取り組みを進めても大きな効果は期待できません。だからこそ私たちは、人々の暮らしを豊かにする医薬品を適切なタイミングでお届けするための最適な方法が、各地域のパートナーと効果的かつ持続可能な信頼関係を構築することと考えています。

パートナーと連携した統合的なアプローチでデング熱の脅威に対処

デング熱は、世界保健機関（WHO）により、2019年の世界の健康に対する10の脅威の一つに指定されました。つらく、命に関わる可能性のあるデング熱の感染者数は、世界中で年間3億9,000万人と推定されており、毎年50万人が入院し、数千人が亡くなっています。⁴

デング熱がなぜこれほど大きな脅威となったのか、その理由は明らかです。約30年前には9カ国にしか存在していなかったデング熱ですが、都市化、旅行、気候変動により、現在では125カ国以上にまで拡大し、その90%が中所得国です。⁵このように、現在最もデング熱による負担に苦しんでいる中南米およびアジアの中所得国を中心に、私たちは、近年承認されたデング熱ワクチンの上市計画に、一丸となって取り組んでいます。2023年11月に、このワクチンは保健当局の承認後、インドネシア、アルゼンチン、ブラジル、タイを含むデング熱の流行国で上市されており、さらに多くの中所得国がこれに続く予定です。

タケダの長期的な目標は、政府資金による国家予防接種プログラムを通じて、デング熱の流行国で可能な限り多くの人々がワクチンにアクセスできるようにすることです。

デング熱に対処するには効果的なワクチンが不可欠ですが、それだけでは不十分です。予防、疾病認識、モニタリングを含むより幅広く統合的なアプローチを取り入れ、そしてワクチンを最も必要とするコミュニティがそれにアクセスできるようにすることこそ、重要なのです。しかし、それはタケダの力だけで実現できるものではありません。政府、国際機関、民間団体、そしてワクチン接種に関わるさまざまな医療関係者と密接に連携して初めて、持続可能な供給プログラムを構築することが可能になるのです。

タケダは、地域の医療体制が迅速にデング熱の感染拡大に対応できるようサポートすることの重要性を認識し、段階的な価格設定モデルを通して公平性に基づいた価格設定も実施しています。さらに、政策立案者と連携し、ワクチン接種プログラムの幅広い実施をサポートするほか、中央調達機関やNGOと協力して、流行国においてより広く、迅速な供給体制を実現しようとしています。



4. <https://link.springer.com/article/10.1007/s40475-019-00192-z>

5. World Health Organization, Fact Sheet, Dengue and Severe Dengue. (2022年1月)

社会的価値をもたらすパートナーシップの構築

タケダは近年、最も影響の受けやすい人々のデング熱への感染リスクを軽減することを目的として、世界各地でパートナーシップを拡大してきました。こうした取り組みを通じて、世界中の人々がより長く健康的な生活を送れるよう支援しています。



デング熱のリスクに対する国民の意識を高める（タイ）

公的な学校教育パートナーシップ：

- 11の団体と提携し、国民の意識を高める
- Ing-Ma バーチャルヒューマン動画キャンペーンを開始し、3500万回以上の再生回数を記録
- バンコク都および大手コンシューマープロダクト事業を展開している花王と協力して、デング熱のリスクと予防・管理方法について国民への啓蒙活動を実施



デング熱の予防に対する意識を高める（ブラジル）

顧客エンゲージメントへの取り組み：

- ユニセフとのパートナーシップにより、水およびベクター媒介感染症の伝染を防ぐため、42万8,000人に教育を提供
- デング熱予防のためのソーシャルメディアキャンペーンを実施
- サンパウロのジャパン・ハウスで一般公開イベントを開催し、意識の向上と予防を促す



デング熱の管理能力を高める（インドネシア）

官民パートナーシップ：

- 保健省との官民パートナーシップにより、政府主導のキャンペーンを通じて最前線で働く医師や地域コミュニティを教育し、予測モデルを強化することでデング熱の感染拡大を防ぐ



データに基づいた戦略を実現する（東南アジア）

予測分析：

- リスク評価とデング熱感染拡大の管理能力向上のため、AIを活用した予測ツールを多くの市場で展開できるよう準備
- 見やすいウェブサイトを通じてデング熱の感染拡大をリアルタイムで可視化

未来を見据えて

タケダは企業として、世界で最も差し迫った医療ニーズに対応するために、新しく、より優れた医薬品やワクチンを研究、開発、上市することにより、世界中の人々の暮らしを豊かにすることに注力しています。さらに私たちは、世界中の患者さんが、公平かつ持続可能な方法でこうした医薬品にアクセスできるようにすることにも尽力しています。



このことから、医薬品アクセスに関する目標は、タケダの企業戦略の中核の一つにもなっています。私たちは、依然として必要な医薬品を利用できない世界中の20億人以上に真のインパクトをもたらすべく、創業の初期段階から臨床開発、販売に至るまで、ビジネスのあらゆる側面に医薬品アクセスの観点を取り入れてきました。⁶

しかし、持続可能で公平な医薬品アクセスへの課題が増えつつあることは明らかです。ほんの一例を挙げると、気候の温暖化により、デング熱などの病原体を媒介する蚊の生息域が拡大するなど、新たな脅威がもたらされています。人口の高齢化や気候変動によるコミュニティの移動増加といった人口動態の動向により、医療に関する予算に対する圧力は大きくなるでしょう。

このように複雑な課題があっても、私たちは諦めません。むしろ、こうした課題の深刻さを考えると、私たちは、より緊急性をもって意味のある変化を推進する必要があります。

私たちは、誰も自分の健康と経済力との間で一方的な選択を迫られることがない世界を目指すべきです。暮らしを豊かにする医薬品へのアクセスは基本的人権であり、特権ではありません。こうした世界を実現するには、持続可能な規模の制度構築、費用負担を軽減する革新的なプログラムの実施、積極的な政策策定など、私たちは中核となる優先事項に注力し続ける必要があります。

また、今日の医療業界の特徴とも言える「診療行為ごとの医療費積み上げ支払い（出来高払い）」の概念を根本的に考え直す必要もあるでしょう。業界を挙げて、価値に基づく医療の実現に向けて具体的な対策をとる必要があると、私たちは確信しています。価値に基づく医療の概念では、医師は提供したサービスではなく、達成した成果に基づいて報酬を受け取ります。これは大きな目標ですが、既存のプログラムと並行して、タケダはこの方向に向かう取り組みを積極的に推進しています。

タケダは今後も、世界中のパートナーシップを強化するとともに、グローバルで持続可能かつ公平な医薬品へのアクセスを阻む障壁に対処するという共通の目標に基づいて活動を続けていきます。引き続き、進捗状況等に関する最新情報を共有していけるよう取り組んでいきます。

Gamze Yuceland

Gamze Yuceland
タケダ グロース&エマージング マーケッツBU
プレジデント

6. <https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/255355/9789241512442-eng.pdf?isAllowed=y&sequence=1>

